

評価計画		自己評価		学校関係者評価		次年度への改善策・取組の方向性	
重点目標	具体的目標	重点的な取り組み事項	評価指標	評価	取り組み状況(○)と課題(*)		評価
(1) 主体的に学ぶ生徒の育成	① 授業研究の促進	・教科会、教科主任会 ・授業互見、研修(校内、他校、異校種等)	・授業見学の回数、見学後の感想 ・生徒による授業評価 ・校外研修等への参加状況	B	○主体的な学びやICT活用を柱に研修を進めた。 ○教科を横断した授業互見が進んだ。 * 生徒の主体的な学習につなげる指導	A	○家庭学習は、昨年度に引き続き低評価。今後も自学の推進が必要だと思う。  ○『学習時間調査』(年6回)は時期別だけでなく学年ごとの集計なども分析されるとよい。  ○生徒の主体性を育むこと、自分で進路選択できる力をつけることに力点を置いて取り組まれている様子が見えた。
	② 新たな学びの推進	・アクティブラーニングの研究(校内研修、他校視察) ・ICT活用方法の研究(校内外の研修参加) ・要約学習、小論文講座の導入	・学習時間調査の結果 ・生徒、教職員アンケート結果 ・校内研修後の評価、感想	A	○アクティブラーニングやICT活用を柱に研究した。 ○要約学習を地域医療の発表に活かした。 * 機器整備と活用法の研究		
	③ 飯南型キャリア教育「生命地域学」の充実	・ねらいを明確にした「生命地域学」の実践 ・主体性、発信力を重視した課題研究 ・キャリア教育の体系化、視覚化	・生徒、教職員のアンケート結果 ・講師、協力機関からの評価・感想	A	○「生命地域学」の取組を体系化し、段階ごとの目標を明確にした。 * 小中学校の「ふるさと教育」との連携		
	④ 図書館を活用した学びの促進	・資料整備、広報、委員会活動の工夫 ・図書資料や新聞を活用した探究学習 ・朝読書	・図書館の活用状況、便りの発行回数 ・委員会活動の回数と評価 ・生徒、教職員アンケート結果	A	○図書委員会の企画が好評だった。 ○授業での活用が増加した。 * 幅広い生徒の図書館利用の促進		
(2) 進路希望の実現	① 主体的に進路選択できる生徒の育成	・進路学習等をおとしての早期の意識醸成 ・面談、個別指導 ・企業見学、学校見学、ジョブフェア	・学習時間調査の結果(推移) ・進路決定等の状況 ・生徒、保護者アンケート結果	A	○面談や進路学習で意識付けを図った。 ○大学見学等の新規取組に手応えがあった。 * 学年の実情に応じた企画の精選	A	○高校3年間は短い、人生を決めるような選択の時期。 キャリア教育が、1年「知る」→2年「体験する(見る)」→3年「自ら選択し進む」のステップをふんだ指導内容が考えられており高評価。ぜひ中間評価も取りつつ進めてほしい。  ○生命地域学の各取組により、自らも企画を提案する発信力が身についてきたと思う。
	② 生徒や保護者への適切な情報提供	・進路指導部と学年会との連携 ・保護者面談等をおとしてのニーズリサーチ ・HPや学校便りを利用した情報提供	・保護者アンケート結果 ・面談等での保護者の感想、評価	B	○面談や説明会で適宜情報提供を行った。 ○学校便りやHPで取組状況を発信した。 * 生徒個々の学力分析と方向付け		
	③ 地域貢献しようとする生徒の育成	・インターンシップ、体験学習、課題研究 ・飯南ジョブフェアの拡充 ・生命地域ラボ、地域交流の促進	・活動実績 ・活動後の生徒や関係者の感想、評価	A	○地域の協力も得て課題研究等が充実した。 ○地域行事への自主的参加が増加した。 * 地元生徒の交流活動参加		
(3) 望ましい人間関係づくり	① 人権を尊重する学校づくり	・PTAと連携した、研究指定2年目の実践 ・いじめ防止と組織的な対応 ・早期の情報モラル教育	・HR活動や講演会後の感想、評価 ・人権だよりの回数と評価 ・生徒、保護者、教職員アンケート結果	B	○人権週間を中心に、授業や講演会、便り等によって人権意識の高揚を図った。 * 人権意識の定着とふるまひの向上 * 内発的なルール順守、問題の未然防止	B	○町外生徒達の地域交流やCATVを通じて情報発信、PRができていた。  ○魅力化は、会社にも通じることで、PR方法が肝要。たとえば部活動の成果などを、外から見てすぐわかるような工夫ができないか。(懸垂幕等) 子ども目線で考えると、部活動は重要なPR要素だと思う。
	② 支援を要する生徒への組織的対応	・学年会、委員会での情報共有 ・保護者、SC、諸機関との連携 ・校内研修実施、校外研修への参加促進	・生徒、保護者、教職員アンケート結果 ・研修後の感想、評価	A	○学年会、ケース会議等により情報共有した。 ○保護者や外部機関との連携に努めた。 * 効果的な支援方法の共有		
	③ 部活動・生徒会活動・特別活動の活性化	・生徒の主体的な活動の推進 ・HPや学校便り、CATVによる情報発信 ・地域や保小中、諸機関との連携	・部活動加入状況 ・生徒、保護者アンケート結果 ・地域等からの評価、感想	A	○生徒会活動、生命地域ラボ等が充実した。 ○CATVをおとして町内外に情報発信ができた。 * 屋外照明、衛生設備の整備		
(4) 中高一貫教育の充実	① 教科指導連携の充実	・打ち合わせ時間の確保(昨年度からの取組) ・共通認識をもった授業実践	・打ち合わせの実施回数、感想 ・中高一貫教育アンケート結果	B	○負担を減らし効率的な授業準備ができた。 ○教科やプレゼンの出前講座を実施した。 * コンスタントな連携授業の実施	B	○特別選抜の改善により、地元中学生の意欲ある受験につながりつつあると思う。  ○ホストファミリーという名前が定着してきた。地域の行事(夏祭り、秋祭り)により、地域との交流やふれあいがよくなった。飯南高校の魅力が伝わる良い取組で、今後も継続していく事項と思う。
	② キャリア教育の系統化	・各段階での目的、運動性、実践内容の明示 ・飯南型キャリア教育全体図の作成 ・保小中との取組内容の共有	・中高一貫教育アンケート結果 ・連絡会議、推進会議での意見	B	○保小中、地域の協力も得てキャリア教育「生命地域学」を充実させることができた。 * 保小中高を貫くキャリア教育の構築 * 行事、企画の精選とねらいの明確化		
	③ 情報の分析・共有と指導	・交流授業、教科会、連携会議 ・授業互見、行事参加の促進 ・特別選抜の改善(2年目)	・中高一貫教育アンケート結果 ・連絡会議、推進会議での意見	B	○授業や行事、部活動で連携が進んだ。 * 連携行事の内容と進め方 * 学習習慣の定着		
(5) 魅力化・活性化事業の推進による期待される学校づくり	① 支援組織や保小中高大・保護者・地域との連携強化	・PTA、後援会、鵬雲会との連携 ・ホストファミリーとの交流促進 ・生命地域ラボの促進と情報発信	・連携事業の実施状況 ・ホストファミリーとの交流実績、感想 ・活動状況の発信回数と感想	A	○PTAや鵬雲会等と協働して行事に取り組んだ。 ○地域に出かける生徒が増えた。 * 家庭への連絡事項の徹底 * PTA活動への幅広い参加	B	○子どもの減少と今後の入学者数については、不安が残る。魅力化の取組に期待する。  ○生徒・保護者アンケートで4や3の評価が多いのは好ましい。教職員の頑張りがかかっている。
	② PR活動の充実	・在校生による『学校案内』や学校説明「月根尾」、HP・FBによる迅速な広報 ・CATVや有線による地元への情報発信	・生徒、保護者アンケート結果 ・学校説明会参加者の評価 ・HPやFBの更新状況	A	○『学校案内』制作や町体験ツアー等が、生徒主体で実施できた。 ○CATV等により効果的な発信ができた。 * HPの改善(今年度からの継続)		
	③ 魅力的な寮づくり	・保護者・教職員・寮職員の連携 ・ホストファミリー制度による地域交流 ・生徒主体の秩序づくり、美化徹底	・寮生アンケート、寮生保護者の意見 ・教職員、寮関係職員の評価 ・委員会の活動状況	B	○ホストファミリー制度等をおとして、寮生と地域との交流機会が増えた。 * 生徒主体の秩序づくりと環境整備 * 保護者への情報提供と、連携した指導		